

問1 飛鳥時代の国際情勢について学習している生徒が、「大化の改新が行われたころの大陸では、それまでの隋に代わって新しい王朝が成立し、周辺諸国を攻撃するなどして東アジアに緊張をもたらしていた」と説明しています。この文中の、隋に代わって成立した王朝の名称として正しいものはどれですか。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 高句麗                      2. 新羅                      3. 唐                      4. 宋

問2 7世紀後半、日本（倭）は滅亡した百済を復興させるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、唐と新羅の連合軍に大敗しました。この戦いを何といいますか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. 白村江の戦い              2. 壬申の乱              3. 刀伊の入寇              4. 元寇

問3 663年の白村江の戦いにおいて、倭（日本）は百済の復興を支援しましたが、唐・新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗北を受け、大宰府周辺の守りを固めるために佐賀県に築かれた「基肄城（きいじょう）」などの山城には、どのような背景や目的がありましたか。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 唐や新羅による日本本土への侵攻という国家的危機に備え、九州の政治・外交の拠点である大宰府を防衛する目的。  
2. 租・庸・調などの重い税負担に苦しんだ農民たちの反乱を鎮圧し、大宰府の役人が地方を監視する拠点とする目的。  
3. 朝鮮半島への再出兵を計画するための軍事訓練施設として、大陸に近い九州北部の山岳地帯に兵力を集結させる目的。  
4. 仏教による国家の鎮護を目的として、大宰府を望む山の上に広大な寺院や仏塔を建設し、外敵を退散させる祈禱を行う目的。

問4 飛鳥文化を象徴する法隆寺に関する記述として、歴史的背景を含めて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。  
2. 聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺の総本山として、国家の保護を受けて発展した。  
3. 奥州藤原氏によって東北地方に建てられ、浄土信仰に基づく金色の建築様式が特徴である。  
4. 最澄が比叡山に開いた天台宗の拠点であり、平安時代以降の仏教の発展に大きく寄与した。

問5 大化の改新の中心人物である中大兄皇子が、天智天皇として即位した後に行った、律令国家の形成に向けた取り組みの説明として最も適切なものを次から選びなさい。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。  
2. 冠位十二階や十七条の憲法を制定し、天皇中心の政治の仕組みを整えた。  
3. 仏教の力によって国を守るため、全国に国分寺・国分尼寺を建て、大仏を造立した。  
4. 大規模な内乱である壬申の乱に勝利した後、強力な専制政治を行い飛鳥浄御原令を編纂した。

問6 古代の日本が、朝鮮半島の百済と緊密な外交関係を維持していた歴史的な背景や影響について、適切に説明しているものはどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

1. 百済が大和政権と連携して高句麗などに対抗する中で、日本に仏教や儒教が伝わった。  
2. 百済が唐と結んで朝鮮半島を統一したため、日本は律令制度を導入した。  
3. 百済が大和政権を軍事的に支配し、高句麗への進出拠点として利用した。  
4. 百済からの亡命者が新羅と協力したことで、日本に漢字が初めて伝わった。

問7 飛鳥時代、聖徳太子の命を受けて中国（隋）へ渡り、当時の進んだ制度や文化を吸収しようとした人物は誰か。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 小野妹子                      2. 鑑真                      3. 阿倍仲麻呂                      4. 最澄

問8 7世紀前半、聖徳太子（厩戸王）らが中心となって奈良盆地の南部で栄えた、日本で最初となる本格的な仏教文化について、その特色を説明したものを次の中から選びなさい。（2022年 奈良公立入試 類似）

1. 中国や朝鮮半島を經由し、インドや西アジアの影響も受けた国際色豊かな文化である。  
2. 遣唐使が伝えた唐の文化に、力強く健康的な武士の気風が加わった文化である。  
3. 平安時代に、日本の風土や生活に合わせた優雅で洗練された貴族中心の文化である。  
4. 聖武天皇の時代に、仏教の力によって国を安定させようとして全国に広がった文化である。

問9 663年に朝鮮半島で行われた「白村江の戦い」において、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後の出来事として、歴史的背景に合致する説明はどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した  
2. 大陸の影響を拒絶するため、遣唐使の派遣を完全に停止し、国風文化を育てる政策に転換した  
3. 天皇中心の政治を諦め、有力豪族である蘇我氏に全ての政治権力を委ねる体制を整えた  
4. 敗戦の責任を問い、中大兄皇子が政治の表舞台から退き、大王による豪族連合政治が復活した

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 3</b> 唐	618年に隋を倒して大陸に成立した唐は、律令制度を整えて強大な国家となり、周辺諸国へ軍事的な圧力を強めました。この唐の出現は東アジアの国際情勢を大きく変え、朝鮮半島の動乱や、日本の国家体制の整備（大化の改新や律令国家の形成）に決定的な影響を与えることとなりました。
問2	<b>答え 1</b> 白村江の戦い	663年に朝鮮半島の白村江で行われた戦いです。当時、日本と親交の深かった百済が唐と新羅によって滅ぼされたため、その再興を支援するために出兵しましたが、圧倒的な軍事力を誇る唐・新羅の連合軍に敗北しました。この敗戦を機に、日本は大陸からの侵攻に備えた国内防衛と、中央集権的な国家体制の構築を急ぐこととなります。
問3	<b>答え 1</b> 唐や新羅による日本本土への侵攻という国家的危機に備え、九州の政治・外交の拠点である大宰府を防衛する目的。	白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた倭（日本）は、強大な勢力が海を越えて攻めてくることを非常に恐れました。そのため、天智天皇（中大兄皇子）は九州北部の防衛を急ぎ、大宰府の北側に水城（みづき）という堤防を築き、周辺の山々には大野城や基肄城（きいじょう）といった朝鮮式山城を築かせました。これは、対外的な緊張感が高まったことで、国内の政治体制をより一層中央集権化（律令国家への移行）させる大きな動機の一つとなりました。
問4	<b>答え 1</b> 世界最古の木造建築として知られ、大陸の技術を取り入れながら日本の仏教文化の基盤を築いた。	法隆寺は7世紀初め、聖徳太子（厩戸皇子）の指導のもとで建立され、日本における初期の仏教興隆を象徴する存在です。他の選択肢は、東大寺（奈良時代・聖武天皇）、中尊寺（平安末期・藤原氏）、延暦寺（平安初期・最澄）に関する説明であり、時代背景や建立の主体が異なります。
問5	<b>答え 1</b> 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。	中大兄皇子（天智天皇）は、白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えた国防の強化と並行して、国内の統治体制を整えました。近江大津宮への遷都や庚午年籍の作成は、中央集権的な律令国家を建設するための重要なステップとなりました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子（冠位十二階）、聖武天皇（大仏造立）、天武天皇（壬申の乱）の内容です。
問6	<b>答え 1</b> 百済が大和政権と連携して高句麗などに対抗する中で、日本に仏教や儒教が伝わった。	百済は大和政権にとって、朝鮮半島の高度な文化や技術を取り入れる重要な窓口でした。百済側も、軍事的に強大な高句麗や近隣の新羅に対抗するため、日本との友好関係を重視しました。この互恵的な関係によって、仏教公伝をはじめとする大陸文化の流入が促進されました。
問7	<b>答え 1</b> 小野妹子	聖徳太子は、中国の進んだ制度や仏教文化を直接学ぶことで、天皇を中心とした国づくりを進めることを目指しました。そのために派遣されたのが遣隋使であり、小野妹子はその代表的な人物です。これにより、日本は中国との対等な外交関係を模索しつつ、律令国家の礎となる知識を得ることができました。
問8	<b>答え 1</b> 中国や朝鮮半島を経由し、インドや西アジアの影響も受けた国際色豊かな文化である。	この時期の文化は、大陸との活発な交流により、シルクロードを通じて遠く西アジアやインドの意匠が日本に伝わったことが大きな特徴です。例えば、法隆寺の建築様式などには、ギリシャに見られる柱のふくらみ（エンタシス）の影響があるという説もあり、当時の国際的な広がりを示しています。
問9	<b>答え 1</b> 唐や新羅の侵攻に備えて、九州に水城を築き、防人という兵士を配置して国防を強化した	白村江の戦いでの敗北は日本にとって大きな危機であり、中大兄皇子（後の天智天皇）は九州の大宰府周辺に防御用の堤防である水城や朝鮮式山城を築きました。この国防の必要性が、国家の権限を中央に集中させる律令制整備の大きな要因となりました。

問1 古代の権力争いに関する記録において、蘇我氏が渡来人の持つ高度な技術や知識を背景に勢力を伸ばし、対立する物部氏を退けて政治の実権を握った背景について、正しい説明はどれか。（2025年 岡山公立入試 類似）

- 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた
- 蘇我氏は武家社会の到来を予見し、幕府を開くために伝統的な家勢力であった物部氏を制圧した
- 蘇我氏は守護大名としての地位を確立するため、山名氏と結んで応仁の乱を引き起こした
- 蘇我氏は独自の神事による統治を目指し、仏教を広めようとした渡来人の一族を追放した

問2 4世紀から7世紀にかけての朝鮮半島において、北部の高句麗や南東部の新羅と対抗しながら、大和政権と緊密な関係を築いた南西部の国はどこですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- 百済
- 新羅
- 高句麗
- 唐

問3 5世紀ごろの朝鮮半島の情勢を説明した文として、当時の勢力図や外交関係に基づいた正しい記述はどれですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

- 朝鮮半島南西部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。
- 朝鮮半島北部の新羅が、百済を圧迫して日本への文化伝播を独占した。
- 中国大陸の唐が、朝鮮半島南部の伽耶（任那）地域を直接支配した。
- 高句麗が朝鮮半島の南東部を領有し、大和政権に仏教を伝えた。

問4 天智天皇が亡くなった後、その跡継ぎをめぐる672年に起こった、古代における最大の内乱の名称として適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

- 壬申の乱
- 保元の乱
- 承久の乱
- 応仁の乱

問5 天武天皇が行った国家建設の取り組みにおいて、律令に基づいた政治を支えるために、全ての土地と人民を国家のものとする考え方を何といいますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

- 公地公民
- 墾田永年私財法
- 地租改正
- 版籍奉還

問6 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。（2024年 岐阜公立入試 類似）

- 法隆寺
- 東大寺
- 延暦寺
- 興福寺

問7 7世紀初めの日本において、聖徳太子らが「冠位十二階」を定めた背景には、天皇中心の政治を強化しようとする意図がありました。この制度の特徴について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

- 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。
- 豪族の身分を固定化し、その子孫が代々高い地位を継承することを保障した。
- 遣唐使として派遣された留学生の意見を取り入れ、全ての土地と人民を天皇のものとした。
- 役人が職務を行ううえで心構えを説いたもので、儒教や仏教の考え方が取り入れられた。

問8 607年に小野妹子が隋に派遣された際、持参した国書には「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや」という趣旨の一文がありました。このような外交姿勢をとった背景にある、当時の日本（倭国）の目的として適切なものを選びなさい。（2023年 静岡公立入試 類似）

- 中国に対して臣下としての礼を尽くし、国王としての称号と金印を授かること
- 中国の皇帝に軍事的な従属を誓うことで、朝鮮半島への出兵を支援してもらうこと
- 中国と対等な立場での外交関係を築きつつ、高度な政治制度や文化を取り入れること
- 中国の領土の一部を譲り受ける代わりに、日本の特産品を朝貢品として献上すること

問9 飛鳥時代、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、家柄にこだわらず、個人の才能や功績に応じて役人を登用する新しい仕組みを整えました。603年に定められたこの制度の名称を答えなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- 冠位十二階
- 憲法十七条
- 御成敗式目
- 楽市・楽座

問10 7世紀の日本の出来事をまとめた歴史の年表において、聖徳太子が小野妹子らを中国の隋へ派遣したという記述があります。この時、進んだ制度や文化を日本に持ち帰ることを目的として派遣された使節の名称を答えなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

- 遣隋使
- 遣唐使
- 遣明使
- 朝鮮通信使

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 蘇我氏は大陸の新しい宗教や文化を国家運営に活用しようとし、反対派を排除して中央集権化を進めた	当時の蘇我氏は、渡来人と深く結びつくことで先進的な技術や仏教という新しい思想を政治に取り入れ、それまでの氏族制度に基づいた政治を打破しようと試みました。これに対し、伝統的な儀式を司ることで地位を維持してきた物部氏は、自身の権益を守るために仏教受容に反対しました。蘇我氏の勝利は、後の聖徳太子による改革や、仏教を中心とした国家体制の整備に大きく影響を与えました。
問2	<b>答え 1</b> 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、北から圧力を強める高句麗や、隣接する新羅との勢力争いの中で、日本の大和政権と結びつきました。この交流を通じて、日本へ仏教や儒教といった当時の先進的な大陸文化が伝わりました。
問3	<b>答え 1</b> 朝鮮半島南西部の百済が、高句麗の南下に対抗するため大和政権と交流した。	5世紀ごろの朝鮮半島では、北部に広大な領土を持つ高句麗が南下政策をとっていました。これに対し、南西部にあった百済は大和政権と連携することで勢力の均衡を図ろうとし、その過程で多くの技術や文化を日本へもたらしました。新羅は南東部、伽耶（任那）は南部に位置していました。
問4	<b>答え 1</b> 壬申の乱	天智天皇の弟である大海人皇子と、その息子である大友皇子が皇位継承をめぐる対立した争いです。この戦いに勝利した大海人皇子は、その後の日本における中央集権体制の確立に大きな役割を果たしました。
問5	<b>答え 1</b> 公地公民	天武天皇から持統天皇の時代にかけて整備された律令国家の根本原則です。それまで豪族が私有していた土地や人民を国家の管理下に置き、戸籍に基づいて人々に田を与える「班田収授法」などを行うための基盤となりました。
問6	<b>答え 1</b> 法隆寺	聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺は、1993年に「法隆寺地域の仏教建造物」として、日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録されました。その西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初めにかけて再建されたものと考えられていますが、世界で最も古い木造建築として非常に高い歴史的価値を持っています。
問7	<b>答え 1</b> 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。	冠位十二階は、功績があった本人に位（冠）を与える制度であり、その地位は子孫に引き継がれる「世襲」ではありませんでした。家柄に関係なく、実力のある人物を役人として引き立てるこの仕組みは、当時の中国（隋）の制度も参考にされています。また、役人の心構えを説いたものは、同時期に制定された「十七条の憲法」です。
問8	<b>答え 3</b> 中国と対等な立場での外交関係を築きつつ、高度な政治制度や文化を取り入れること	聖徳太子は、当時の中国の皇帝（煬帝）に対して対等な立場で国書を送りました。これは、これまでの中国に従う形式の外交ではなく、日本が独立した国家であることを示しながら、最新の政治体制（律令など）や仏教を主体的に学び、国内の権威を高める狙いがありました。この姿勢は隋側を驚かせましたが、当時の東アジア情勢も影響し、交流は継続されました。
問9	<b>答え 1</b> 冠位十二階	聖徳太子は、それまでの「氏（うじ）」という家柄によって世襲される政治体制を改め、能力のある人物を中央政府の役人として登用するためにこの制度を導入しました。冠の色によって役人の位（ランク）を12段階に分け、儒教の徳目である「仁・礼・信・義・智」などの名称が用いられたことが特徴です。
問10	<b>答え 1</b> 遣隋使	聖徳太子は推古天皇の摂政として、当時中国を統一していた隋の進んだ制度や文化を積極的に取り入れることで、天皇中心の国づくりを進めようとした。この目的のために派遣された使節が遣隋使であり、小野妹子がその代表的な人物として知られています。

問1 聖徳太子が「十七条の憲法」の制定や「冠位十二階」の制度を導入した背景にある、当時の政治的な狙いとして最も適切なものはどれですか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. 特定の豪族が代々高い位を独占する仕組みを強化し、政権を安定させるため
2. 仏教の影響を排除し、神道に基づいた古くからの統治方法を復活させるため
3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため
4. 農民に土地を分け与える班田収授法を施行するための、全国的な戸籍を作成するため

問2 聖徳太子が法隆寺を建立した背景にある、この時期の文化的な特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 仏教が本格的に受容され、大陸の建築様式を取り入れた寺院が国家や有力者によって建設された。
2. 国風文化が発達し、寝殿造と呼ばれる日本独自の貴族建築が広く普及した。
3. 武士が政権を握ったことで、質実剛健な禅宗の影響を強く受けた寺院が好まれた。
4. キリスト教の影響を受けた南蛮文化が流入し、石造りのドーム型建築が各地に築かれた。

問3 7世紀後半、日本が対馬や九州、瀬戸内海沿岸などに「山城」を築き、大規模な国防強化を行うこととなった直接の理由として正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、日本本土への侵攻が懸念されたため。
2. 蝦夷（えみし）との戦いが激化し、東北地方の支配権を確立するため。
3. 平将門の乱や藤原純友の乱が発生し、地方の治安が急速に悪化したため。
4. 遣唐使を廃止したことで唐との国交が断絶し、緊張状態が高まったため。

問4 6世紀末に中国を統一した王朝であり、聖徳太子が摂政を務めていた607年に、小野妹子らが使者として派遣された先である王朝名として正しいものを選びなさい。（2026年 長野公立入試 類似）

1. 隋
2. 秦
3. 唐
4. 宋

問5 日本最古の銅銭とされる「富本銭」に関する説明として、歴史的な背景や事実に基づいた適切な記述はどれですか。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。
2. 元明天皇が平城京への遷都に合わせて発行し、役人の給与として初めて全国に普及した。
3. 平安時代に唐から輸入された貨幣をモデルにして、日本国内で初めて流通した鉄銭である。
4. 室町時代に足利義満が明との貿易を行うために、中国から輸入して国内の市で使用させた。

問6 飛鳥時代において、朝鮮半島から伝来した新しい宗教である仏教を積極的に受け入れ、聖徳太子（厩戸王）と協力して政治改革を推進した有力豪族を答えなさい。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 蘇我氏
2. 藤原氏
3. 平氏
4. 北条氏

問7 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）らが中央集権的な国家体制を整えるために定めた、個人の才能や功績に応じて位階を授ける制度を何といいますか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 冠位十二階
2. 十七条の憲法
3. 公地公民
4. 班田収授法

問8 天智天皇が「庚午年籍（こうごねんじやく）」と呼ばれる日本で最初の全国的な戸籍を作成した最大の目的は、どのような点にありましたか。当時の社会背景を踏まえて、最も適切な理由を選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課すための基礎とするため。
2. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院に住む僧侶の数や修行の状況を把握して管理するため。
3. 遣隋使や遣唐使として渡航する優秀な人材を見極めるため、氏姓制度に基づいた豪族の家系図を整理するため。
4. 大規模な干拓事業や東大寺の建立にあたり、必要な労働力を確保するために浮浪化した農民を強制的に連れ戻すため。

問9 朝鮮半島で高句麗・新羅・百済が勢力を競っていた時代の文化交流について、百済から日本へ仏教が伝えられた主な理由として考えられる、当時の国際情勢を反映した説明はどれですか。（2023年 福井公立入試 類似）

1. 百済が新羅や高句麗に対抗するため、日本との軍事的・外交的なつながりを深めようとした。
2. 新羅が仏教を禁止したため、百済が周辺国へ仏教を避難させる必要があった。
3. 高句麗が中国と協力して日本を攻撃しようとしたため、百済が日本に降伏を勧めた。
4. 日本が朝鮮半島全体を支配下に置いたため、百済が貢ぎ物として仏像を献上した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 3</b> 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整えるため	当時は蘇我氏などの有力豪族が政治の実権をめぐって対立していました。聖徳太子は、家柄ではなく才能や功績に応じて位を与える「冠位十二階」や、役人の心得を説く「十七条の憲法」を定めることで、豪族中心の政治から天皇を中心とするまとまりのある国づくりを目指しました。
問2	<b>答え 1</b> 仏教が本格的に受容され、大陸の建築様式を取り入れた寺院が国家や有力者によって建設された。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、聖徳太子の執政のもとで仏教を中心とした「飛鳥文化」が花開いた時期です。百済（朝鮮半島）などを通じて伝わった大陸の高度な建築技術や仏教信仰が、日本の統治体制や文化の形成に大きな影響を与えたことを象徴しています。
問3	<b>答え 1</b> 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、日本本土への侵攻が懸念されたため。	百済の復興を支援するために朝鮮半島へ送られた日本軍が、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したことが発端です。この敗北により、当時の指導者であった中大兄皇子は、勝利に乗じた唐などが日本へ攻めてくることを恐れ、国家の存亡をかけて防人や山城による防衛線を作り上げました。
問4	<b>答え 1</b> 隋	589年に中国を統一した隋に対して、聖徳太子は小野妹子を遣隋使として派遣しました。これは当時の先進的な文化や制度を直接取り入れ、国力を高める目的がありました。遣隋使はその後、隋が滅びて唐が成立するまで数回にわたり派遣されました。
問5	<b>答え 1</b> 天武天皇の時代に製造され、近年の遺跡調査によって和同開珎よりも古いことが確認された。	飛鳥時代の天武天皇が「今より以後、必ず銅銭を用いよ」という詔（みことり）を出した時期と重なる7世紀後半につくられました。1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から、鋳型などの製作道具とともに大量に発見されたことで、和同開珎よりも古いものであることが定説となりました。広く一般の市場で流通したというよりは、国家の威信を示す目的や儀式的な意味合いが強かったと推測されています。
問6	<b>答え 1</b> 蘇我氏	古墳時代末期から飛鳥時代にかけて勢力を伸ばした蘇我氏は、渡来人と結びついて大陸の新しい文化や仏教を積極的に取り入れました。蘇我馬子は聖徳太子と協力し、冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、天皇中心の国づくりに尽力しました。
問7	<b>答え 1</b> 冠位十二階	この制度は、従来の家柄によって地位が決まる仕組みとは異なり、個人の実力を評価して役人を登用することを目的に導入されました。儒教の徳目に基づいた名称の冠を授けることで、官僚組織の基礎を築こうとした飛鳥時代の重要な改革の一つです。
問8	<b>答え 1</b> 全国の人民の名前や住所を把握することで、公平に土地を分け与えるとともに、兵役や税を確実に課するための基礎とするため。	大化の改新から始まった「公地公民」の原則を具体化するためには、政府が直接人民を把握する必要がありました。天智天皇が作成した庚午年籍は、人民に口分田を与えて耕作させ（班田収授）、代わりに税（租・庸・調）や兵役（防人など）を課するための台帳として機能しました。特に当時の日本は唐や新羅の脅威にさらされていたため、兵力を確保するための人民把握は急務でした。
問9	<b>答え 1</b> 百済が新羅や高句麗に対抗するため、日本との軍事的・外交的なつながりを深めようとした。	6世紀の朝鮮半島では、高句麗、新羅、百済の三つの国が激しく対立していました。百済は軍事的に有利な立場を築くため、日本との友好関係を重視しました。そのため、当時の先進文化であった仏教を日本へ伝えることで、外交的な信頼関係を築き、日本からの支援を得ようとする意図があったと考えられています。

問1 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
2. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。
4. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。

問2 7世紀半ばまでの日本が、遣隋使や初期の遣唐使を派遣して中国の王朝と交流を持った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。
2. 全国的な戸籍を効率よく作成し、民衆から重い税を確実に徴収する技術を習得するため。
3. 東大寺の大仏建立に必要な銅を確保し、仏教による国の安定を図るための技術協力を求めるため。
4. 白村江の戦いにおいて中国の王朝を軍事的に支援し、朝鮮半島の領土を拡大するため。

問3 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（ ① ）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（ ② ）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」（2018年 大分県公立入試 類似）

1. ①：唐、②：新羅
2. ①：隋、②：高句麗
3. ①：漢、②：百済
4. ①：宋、②：高麗

問4 法隆寺が現在も世界的に高く評価されている最大の理由として、建築史の観点から正しい説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。
2. 日本で初めて、レンガと石材を組み合わせて作られた寺院であるため。
3. 江戸時代に徳川家光によって再建された、国内最大の木造建築であるため。
4. 大陸の影響を一切受けずに、日本固有の技術のみで設計された最初の寺院であるため。

問5 7世紀の日本における政治的な変遷と、その背景について述べた文章として最も適切なものはどれか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 中大兄皇子らは、蘇我氏による権力の独占を打破するために大化の改新を開始し、白村江の戦いで敗北を契機に、外敵への防衛を意識した中央集権体制の整備を急いだ。
2. 聖徳太子は、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことを受け、仏教の力で国を安定させるために、世界最古の木造建築である法隆寺の建立に着手した。
3. 壬申の乱に勝利した天武天皇は、混乱した社会を鎮めるために聖武天皇の政策を引き継ぎ、全国に国分寺や国分尼寺を建立する詔を出した。
4. 白村江の戦いによって朝鮮半島での影響力を拡大させた日本は、蘇我氏を中心とした強力な貴族連合政治を確立し、天皇を象徴とする国家体制を築いた。

問6 7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした法に基づく国家体制（律令国家）を整備していった過程について、出来事を時系列に沿って正しく並べたものはどれですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都
2. 公地公民の方針の提示 → 十七条の憲法の制定 → 藤原京への遷都 → 近江大津宮への遷都
3. 十七条の憲法の制定 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都 → 公地公民の方針の提示
4. 藤原京への遷都 → 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都

問7 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 東京スカイツリー
2. 瀬戸大橋
3. 東京都庁舎
4. 明石海峡大橋

問8 飛鳥時代後半から奈良時代にかけての貨幣の歴史について、正しい説明を述べているものを次の中から選びなさい。（2019年 秋田県公立入試 類似）

1. 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。
2. 和同開珎は、日本で初めて鑄造された銀銭として全国に普及した。
3. 富本銭は、平城京への遷都を記念して藤原不比等によって作られた。
4. 当時の政府は、貨幣の流通を促進するために蓄銭叙位令を廃止した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問2	<b>答え 1</b> 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。	当時の日本は、中国の高度な政治制度（律令制）や仏教、芸術、学問などを組織的に導入することで、中央集権的な国家体制を確立しようとしていました。白村江の戦いよりも前の時期から行われていたこれらの派遣は、国内の制度改革を主眼に置いたものであり、奈良時代の聖武天皇による大仏建立や、後の時代に行われる政策とは背景が異なります。
問3	<b>答え 1</b> ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。
問4	<b>答え 1</b> 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。	法隆寺の西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初頭にかけて再建されたものと考えられていますが、それでも1300年以上の歴史を持ち、木造建築としては世界最古の規模を誇ります。ヒノキ材を巧みに使い、長期間の重さに耐える工夫がなされた建築技術の高さが、世界文化遺産の選定においても決定的な要素となりました。
問5	<b>答え 1</b> 中大兄皇子らは、蘇我氏による権力の独占を打破するために大化の改新を開始し、白村江の戦いで敗北を契機に、外敵への防衛を意識した中央集権体制の整備を急いだ。	645年、中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足は、権勢を振るっていた蘇我氏を倒して天皇中心の政治改革（大化の改新）を始めました。その後、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した日本は、対外的な緊張感から国内の支配体制を固める必要に迫られ、戸籍の作成や防人の配置など、中央集権国家としての仕組みを強化していきました。聖武天皇による国分寺建立は8世紀（奈良時代）の出来事であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	<b>答え 1</b> 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都	聖徳太子が役人の心得を示した十七条の憲法（604年）を制定した後、中大兄皇子らによる大化の改新（646年）で公地公民の原則が示されました。その後、天智天皇としての近江大津宮への遷都（667年）を経て、694年に持統天皇によって中国の都にならった本格的な都城である藤原京へと移りました。藤原京が大津宮よりも後の時期である点に注意が必要です。
問7	<b>答え 1</b> 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問8	<b>答え 1</b> 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 飛鳥時代

名前

得点

/8

**問1** 天智天皇の後継者争いに勝利して即位した天武天皇が、その後の政治において目指した国家のあり方として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした強力な中央集権による律令国家の建設
2. 有力な貴族が政治の実権を握り、天皇を補佐する摂関政治の確立
3. 地方の豪族がそれぞれの土地を私有し、独立した権限を持つ封建制の導入
4. 武士が政治の表舞台に立ち、幕府を開いて軍事力を中心に統治する仕組み

**問2** 飛鳥時代、日本は百済などの朝鮮半島の国々から仏教や漢字、儒教といった大陸の文化を取り入れました。百済から伝えられた仏教が、その後の日本の政治や文化に与えた影響についての説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。
2. 遣唐使によってもたらされた禅宗が、鎌倉時代の武士の精神的支えとなった。
3. 平城京に大きな東大寺を建立し、全国に国分寺や国分尼寺を作ることによって地方を治めた。
4. キリスト教の伝来に対抗するため、幕府が寺請制度を整えて仏教を保護した。

**問3** 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 東京スカイツリー
2. 瀬戸大橋
3. 東京都庁舎
4. 明石海峡大橋

**問4** 大化の改新から始まる一連の政治改革において、中大兄皇子らが目指した国家のあり方として最も適切な説明はどれか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。
2. 有力な豪族であった蘇我氏の権限をさらに強化し、貴族たちが合議制によって政治を主導する仕組みを作ること。
3. 地方豪族を国司に任命してその地域の支配権を完全に認め、地方自治を基礎とした国づくりを進めること。
4. 唐の律令制度を拒否し、日本独自の武士による封建的な主従関係に基づいた政治体制を構築すること

**問5** 7世紀後半、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐる大海人皇子と大友皇子が争った、古代最大といわれる内乱はどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 壬申の乱
2. 壬生の乱
3. 保元の乱
4. 平治の乱

**問6** 聖徳太子が「冠位十二階」や「十七条の憲法」を制定した大きな目的として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした中央集権的な国家の基盤を築くため
2. 地方の有力な豪族に領地の永代支配権を認めるため
3. 仏教を排除して日本の伝統的な神道を保護するため
4. 隋から来た留学生に日本の進んだ法制度を示すため

**問7** 聖徳太子は十七条の憲法を制定した際、役人に対して「天皇の命令（詔）には必ず従わなければならない」という姿勢を強調しました。このような記述が盛り込まれた政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

1. 有力な豪族が対立し合っていたため、天皇を中心とした中央集権的な国家を目指す必要があったから。
2. 大宝律令に基づいた戸籍を作成し、すべての民衆に土地を平等に分配する仕組みを完成させたから。
3. 唐の制度を模範とした大規模な行政組織がすでに完成しており、その運用を円滑にするため。
4. 仏教を国教として強制し、法隆寺のような寺院の建立を最優先する国家方針を徹底させるため。

**問8** 7世紀半ば、朝鮮半島の南西部に位置し、日本（倭）と親密な関係にあったものの、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。日本はその復興を支援するために、663年に朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで大敗を喫することとなった。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 百済
2. 新羅
3. 高句麗
4. 任那

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 天皇を中心とした強力な中央集権による律令国家の建設	壬申の乱に勝利して絶大な権力を手にした天武天皇は、それまでの豪族たちの勢力を抑え、天皇に権力を集中させることを目指しました。この方針は後の大宝律令の完成へとつながり、日本における法に基づく統治（律令国家）の基礎となりました。
問2	<b>答え 1</b> 聖徳太子（厩戸王）が仏教を厚く敬い、法隆寺などの寺院を建立して国家の安定を図った。	百済から伝来した仏教は、有力豪族である蘇我氏によって受け入れられ、のちに聖徳太子の政治に取り入れられました。聖徳太子は「三宝を敬え」という内容を含む十七条の憲法を制定し、法隆寺などの寺院を建てることで、仏教を基盤とした国家づくりを進めました。これが日本最初の仏教文化である飛鳥文化の発展につながりました。
問3	<b>答え 1</b> 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問4	<b>答え 1</b> 土地と人民を国家のものとする公地公民を原則とし、天皇を中心とした中央集権国家を確立すること。	大化の改新の最大の目的は、それまで有力豪族（蘇我氏など）が私有していた土地や人民を国家のものとする「公地公民」の制を導入し、天皇に権力を集中させる中央集権国家を築くことにありました。これは当時の唐の制度を参考にしたものであり、後の律令国家形成へとつながる重要な改革でした。「国司の権限を強める」という選択肢は、中央集権化とは逆の方向（地方分権）を指すため誤りです。
問5	<b>答え 1</b> 壬申の乱	天智天皇が亡くなった後、その弟である大海人皇子と、子である大友皇子の間で後継者争いが起こりました。これが672年の壬申の乱です。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、中央集権化をさらに推し進めることとなりました。
問6	<b>答え 1</b> 天皇を中心とした中央集権的な国家の基盤を築くため	当時は豪族同士の勢力争いが続いていたため、家柄ではなく能力で役人を登用し、さらに役人の心得を定めることで、天皇の命令が全国に行き届くような強力な政治体制（中央集権国家）を作ろうと考えました。
問7	<b>答え 1</b> 有力な豪族が対立し合っていたため、天皇を中心とした中央集権的な国家を目指す必要があったから。	当時は蘇我氏などの有力な豪族が政治の実権を争っており、国家としてのまとまりが欠けていました。聖徳太子は「和を以て貴しとなす」という言葉で豪族間の協調を求めつつ、天皇の命令（詔）に従うことを義務づけることで、個々の豪族の権力を抑え、天皇を中心とする秩序ある国づくりを進めようとしていました。なお、全国的な律令（大宝律令）の完成は、この憲法制定から約1世紀後のことです。
問8	<b>答え 1</b> 百済	7世紀の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を拡大していました。660年に百済が滅亡すると、日本（倭）は友好関係にあった百済の遺臣から救援を求められ、復興を支援するために大軍を派遣しました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北したことで、百済復興の道は閉ざされました。